

フジバカマ キク科

フジバカマは秋の七草のひとつです。葉や茎^{くき}をかわかすとよい香りがします。

昔は野生のものが多くありましたが、最近は生育場所がせばめられ、とても少なくなっています。



写真提供：富沢 章氏

フジバカマの特ちょう

高さ1～1.5メートルぐらいになる大形のキク科の植物です。茎の先は上部で4～5本ほどに分かれて、白からあわい^{べい}紅色の花を多数つけます。

調べやすい時期（花期）

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

県内の分布

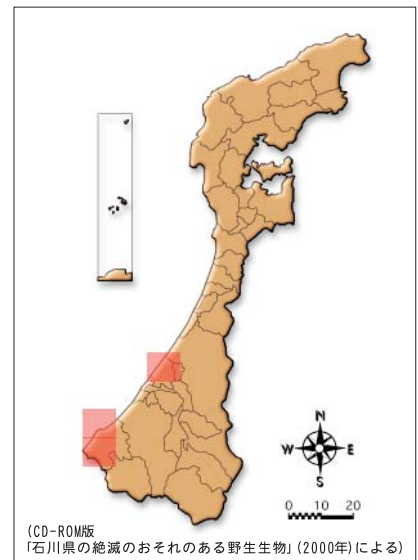
加賀市や金沢市の河川の堤防^{ていぼう}などに分布しています。

見つけやすい場所

平地の川岸のしめった草地や土手、河川敷^{かせんじき}などの草たけの高い草地内にはえます。

見分け方のポイント

葉には葉柄^{ようへい}があり、3つに分かれます。



フジバカマ



- ・葉柄がある。
- ・葉の裏面に腺点がなく、3つに分かれるのが目立つ。

ヒヨドリバナ



- ・葉柄がある。
- ・葉の裏面に腺点があり、分かれにくい。

サワヒヨドリ



- ・葉柄がない。
- ・葉の裏面に腺点があり、ふつう分かれにくい。